

周術期口腔ケア

Plan 計画

- ・周術期口腔機能管理は、手術療法患者に局限したものではなく、放射線治療、化学療法またはその両者の併用療法も該当することを引き続き周知する。
- ・年間の当院がん手術件数と放射線・化学療法の患者数と依頼件数をもとに、計画を立案する。
- ・歯科外来で行っている周術期口腔ケアと共に、8階周術期口腔ケアユニットでの周術期口腔機能管理について周知する。

Do 実行

- ・周術期口腔機能管理を行いながら、各委員会等で周術期口腔管理の重要性や必要性の周知を継続していく。
- ・手術療法患者の依頼件数は増加傾向にあるが、依然として放射線療法患者、化学療法患者の依頼は伸び悩んでいる。この度8階周術期口腔ケアユニットを開設し、化学療法患者の更なる周術期口腔管理に勤める。
- ・特に血液疾患患者は、化学療法のみならず造血幹細胞移植後の口腔内の諸問題が出現するため、重点的に周術期口腔管理を行っていく。

Action 改善

- 【受診数を増やすには】
- ・引き続き周術期口腔機能管理の有効性を様々な会議等で説明し、効果と結果を検討しフィードバックを行う。
 - ・8階周術期口腔ケアユニットを開設したので、化学療法療法患者への周術期口腔機能管理について更なる周知を行う。
 - ・周術期口腔機能管理の質の向上に引き続き努める。

Check 評価

依頼件数(総数、科別など)
緩やかに増加していることを評価するとともに問題点を抽出する。

